

平成28年（2016）6月 入域観光客数概況

6月の観光客数は、71万4,400人
対前年（H27）同月比 +10万4,400人、+17.1%
～6月の過去最高を更新、6月として初の70万人台を記録～

入域状況

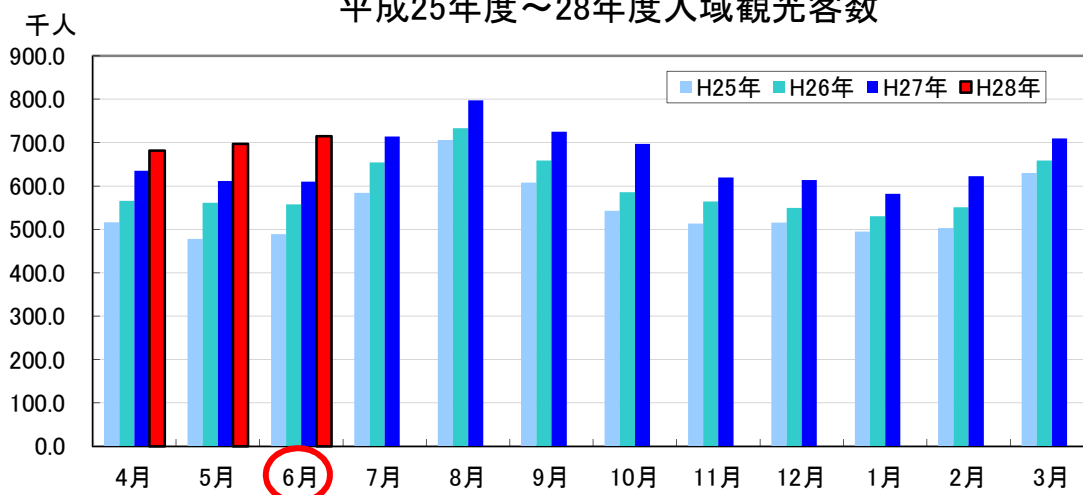
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	498,500 人	460,800 人	+ 37,700人	+ 8.2%	69.8%
外国客	215,900 人	149,200 人	+ 66,700人	+ 44.7%	30.2%
合計	714,400 人	610,000 人	+ 104,400人	+ 17.1%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	498,500 人	460,800 人	+ 37,700人	+ 8.2%	72.9%
外国客	185,600 人	132,400 人	+ 53,200人	+ 40.2%	27.1%
合計	684,100 人	593,200 人	+ 90,900人	+ 15.3%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

6月は、各航空会社及び旅行会社による販売取り組み強化により、各方面ともに販売状況が好調だったことや、羽田や伊丹など主要方面路線が好調に推移したこと、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から前年を上回った。

7月以降は、夏休み需要が高まる8月を中心に、各旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

6月は、香港－石垣路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が大幅に増加したこと等により、空路・海路ともに順調に増加し、前年を上回った。また、シンガポール等からのチャーター便が好調だった事などから、主要方面以外の入込も好調となった。

7月は台北－那覇及び中国・南京－那覇路線の新規就航、天津－那覇路線再開を含む航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港回数の増加が予定されていること等から、空路・海路ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	238,600 人	215,200 人	+ 23,400人	+ 10.9%	47.9%
関西方面	111,300 人	106,300 人	+ 5,000人	+ 4.7%	22.3%
福岡方面	61,200 人	56,800 人	+ 4,400人	+ 7.7%	12.3%
名古屋	41,800 人	37,200 人	+ 4,600人	+ 12.4%	8.4%
その他	45,600 人	45,300 人	+ 300人	+ 0.7%	9.1%
合計	498,500 人	460,800 人	+ 37,700人	+ 8.2%	100.0%

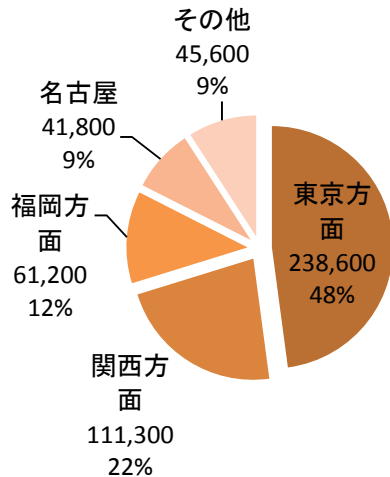
※国内海路客4,700人を含む(鹿児島1,800人、横浜2,000人、神戸800人、関西100人)

外国客 国籍別入域状況

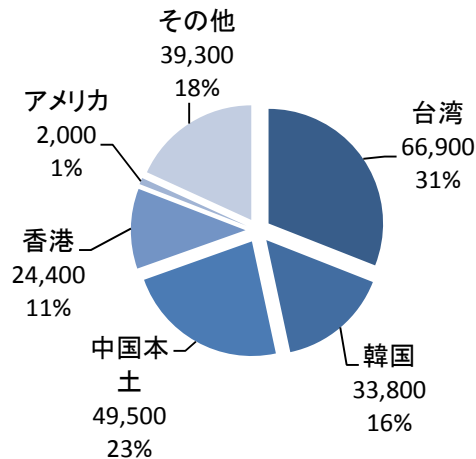
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	66,900 人	66,900 人	61,800 人	+ 5,100人	+8.3%	31.0%
韓国	33,800 人	33,800 人	19,100 人	+ 14,700人	+77.0%	15.7%
中国本土	49,500 人	49,500 人	25,900 人	+ 23,600人	+91.1%	22.9%
香港	24,400 人	24,400 人	18,800 人	+ 5,600人	+29.8%	11.3%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	1,400 人	+ 600人	+42.9%	0.9%
その他	39,300 人	9,000 人	22,200 人	+ 17,100人	+77.0%	18.2%
合計	215,900 人	185,600 人	149,200 人	+ 66,700人	+44.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	46,900 人	46,900 人	+17.5%	35.4%	20,000 人	20,000 人	△8.7%	24.0%
韓国	33,500 人	33,500 人	+76.3%	25.3%	300 人	300 人	+200.0%	0.4%
中国本土	25,500 人	25,500 人	+28.8%	19.3%	24,000 人	24,000 人	+293.4%	28.7%
香港	18,800 人	18,800 人	+1.1%	14.2%	5,600 人	5,600 人	+2700.0%	6.7%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	+45.5%	1.2%	400 人	400 人	+33.3%	0.5%
その他	6,100 人	6,100 人	+32.6%	4.6%	33,200 人	2,900 人	+88.6%	39.8%
合計	132,400 人	132,400 人	+28.5%	100.0%	83,500 人	53,200 人	+80.7%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

6月は、各社旅行商品の販売状況が好調だったことや、羽田方面路線の提供座席数増、引き続き、LCCを中心に成田からの入込が増加したこと等から、前年を上回った。
7月以降は、夏休み需要が高まる8月を中心に、各旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、各航空会社による深夜便や羽田ー久米島路線の直行便再開などを含めた航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

6月は、各航空会社の早期予約割引が好調だったことや、引き続き、伊丹ー那覇路線の提供座席数増、離島方面を中心に入込が好調だったこと等から、前年を上回った。
7月以降は、夏休み需要が高まる8月を中心に、各旅行会社において離島を中心に予約状況が良好なことや、夏後半の商品販売の取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

6月は、各航空会社の販売状況が個人旅行を中心に好調だったことや、福岡ー那覇路線の提供座席数増等から、前年を上回った。
7月以降は、夏休み需要の高まりによる、個人や家族向け旅行商品の予約状況が良好なこと、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

6月は、各旅行会社の販売状況が団体旅行を中心に好調だったことや、引き続き、スカイマークによる増便等、航空路線の拡充があったことから、前年を上回った。
7月以降は、他方面との競合が懸念されるものの、沖縄方面への夏休み旅行人気を背景に、8月は各旅行会社において個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

6月は、端午節の連休による旅行需要に加え、各航空会社の航空路線の拡充等により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
7月は、V Airの台北ー那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

6月は、顕忠日の連休による旅行需要に加え、各旅行会社の販売状況が個人旅行を中心に好調だったことや、航空路線の拡充等により、空路客を中心に前年を上回った。
7月は、他方面との競合が懸念されるものの、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

6月は、各旅行会社の販売状況が好調だったことや、天津及び瀋陽ー那覇路線がいずれも好調だったこと、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
7月は、天津航空の天津ー那覇路線の運行再開を含む航空路線の拡充があること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

6月は、端午節の連休による旅行需要に加え、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
7月は、上海吉祥航空の南京ー那覇路線の新規就航があること、引き続き、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

6月は、香港エクスプレスの香港ー石垣路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
7月は、各旅行社による離島商品の販売取り組みの動きがあることや、引き続き、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。